

問1 長崎県の西方を通り日本海へと流れ込む対馬海流は、日本の冬の気候に対してどのような影響を与えていますか。その仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冷たい海水を運ぶことで雲の発生を抑え、冬の日本海側を乾燥した晴天にする。 | 2. 冬の北西の季節風に対して熱と水蒸気を与え、日本海側に大雪をもたらす要因となる。 | 3. 日本列島の太平洋側に湿った空気を送り込み、冬の関東地方に雨をもたらす。 | 4. シベリア高気圧からの冷たい風を遮断し、北陸地方の冬を南国のような気温に保つ。 |
|---|--|--|---|

問2 日本の河川の特徴と、人々の暮らしとの関わりについて述べた文として、地形的な背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 山地が海岸近くまで迫っている地形の影響で河川の勾配が急であり、雨水が短時間で流出するため、水資源の有効活用のためにダムが必要となる。 | 2. 流域面積が非常に広いため、季節による流量の変化が小さく、ダムなどに頼らずとも年間を通じて安定した水利用が可能である。 | 3. 国土が全体的に平坦で河川の勾配が緩やかなため、外洋から大型船が内陸まで航行できる利点を活かし、ダムを造らず水運を重視している。 | 4. 全国的に降水量が極端に少ないため、河川水よりも各地に点在するため池を主な水源として、大規模な都市の生活用水をすべてまかなっている。 |
|---|---|--|--|

問3 東北地方の太平洋側で、冷たく湿った性質を持つ「やませ」が夏の長期間にわたって吹き続けた場合に懸念される、農業への影響として最も適切なものはどれですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 海からの強い風が海水を内陸まで運ぶことで、農作物の葉や茎が枯れてしまう塩害が発生する。 | 2. 南風の影響でも急激に気温が上昇し、農作物がしおれてしまう高温障害が発生する。 | 3. 気温が上がらず日照時間が不足することで、稲などが十分に育たない冷害が発生する。 | 4. 乾燥した強い風が山を越えて吹き下ろすことで、田畑の水分が奪われ深刻な干ばつが発生する。 |
|--|---|--|--|

問4 災害に強い都市づくりにおいて、電線類の地中化が進められています。地震発生時の被害状況をまとめた調査において、震度七の地震における架空線の被害割合が約十パーセントであったのに対し、地中線の被害割合がゼロパーセントであったという結果に基づき、地中配電設備を導入する主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 地中の配電設備は、震度七の揺れであっても地震の振動そのものが電線に一切伝わらないという物理的特性を持っているため。 | 2. 強震時においても電柱の倒壊や電線の断線を防ぐことができ、電力供給の維持や、倒壊した電柱による緊急車両の通行妨害を防止するため。 | 3. 架空線に比べて設置コストが非常に安いため、被災後の電力設備全体の修繕費用を抑制し、自治体の財政負担を軽減するため。 | 4. 地中線は免震構造によって守られており、液状化現象が発生しやすい沿岸部においても、架空線より短期間で復旧作業が完了するため。 |
|--|--|--|--|

問5 瀬戸内海に面した地域では、1月と7月の両方において降水量が少なく、年間を通じて雨が少ない傾向があります。このような気候の特色がみられる主な理由を説明したものと、最も適切なものを選んでください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、気温が上昇して乾燥するため。 | 2. 一年を通じて勢力の強い高気圧に覆われ、上昇気流が発生しにくいから。 | 3. 冬の北西の季節風が湿った空気を運び、中国山地の斜面で雨を降らせるため。 | 4. 季節風が、中国山地や四国山地などの山地によってさえぎられるため。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|

問6 川が山間部から平地に流れ出た場所に形成される扇状地の土地利用について、地形的な特徴と農業の関係を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 等高線の間隔が狭く、急な斜面が続く場所は、日当たりが良いため、山の斜面をそのまま利用して茶の栽培が行われることが多い。 | 2. 等高線の間隔が広く、ゆるやかな斜面が広がる場所は、砂や礫が堆積して水はけが良いため、果樹栽培に利用されることが多い。 | 3. 等高線の間隔が広く、平坦な場所は、地表に水が残りがやすく湿地になりやすいため、主に稲作地帯として利用される。 | 4. 等高線の間隔が狭く、複雑な地形をしている場所は、強風を防ぎやすいため、ビニールハウスを用いた促成栽培が行われる。 |
|--|---|---|---|

問7 鳥取県の大山付近にあるスキー場の様子を記した地形図において、等高線が非常に密集しているコースAと、コースAに比べて等高線の間隔が広いコースBの二つが示されている。これら二つのコースの傾斜の比較について、地形図から読み取れる内容として正しいものはどれか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|--|---|--|
| 1. コースAとコースBはどちらも平坦な土地に位置している。 | 2. コースAは急斜面であり、コースBはコースAに比べて緩やかな斜面である。 | 3. 等高線の間隔の広さは、コースの標高の高さのみを表しており傾斜とは関係がない。 | 4. コースBは急斜面であり、コースAはコースBに比べて緩やかな斜面である。 |
|--------------------------------|--|---|--|

問8 東北地方の三陸海岸のように、山地が沈水して形成された複雑に入り組んだ海岸線では、津波の被害が非常に大きくなる傾向があります。この地形の名称と、被害が拡大する理由の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 砂丘海岸と呼ばれ、遮るものがない平坦な地形が続くため、波が内陸深くまで到達するため。 | 2. リアス海岸と呼ばれ、狭い湾の奥に向かうほど津波のエネルギーが集中して波が高くなるため。 | 3. カルスト地形と呼ばれ、地下に空洞が多いために地盤沈下が発生し、浸水が長引くため。 | 4. 干拓地と呼ばれ、もともと海であった場所を埋め立てているため、排水が困難になるため。 |
|---|--|---|--|

問9 日本の東側の太平洋上で、北から南下してくる寒流の親潮と、南から北上してくる暖流の黒潮がぶつかり合う海域は、プランクトンが豊富で多くの魚が集まる好漁場となっています。このような海域を何と呼びますか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|--------|-----------|
| 1. バンク（浅瀬） | 2. 排他的経済水域 | 3. 大陸棚 | 4. 潮目（潮境） |
|------------|------------|--------|-----------|

問10 近年、都市部では集中豪雨の際に下水管内の空気が圧縮され、マンホールから水が噴き出す「都市型洪水」が課題となっています。この対策として、京都市などで導入されている「雨庭（あめにわ）」の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 雨水をすべて地下の巨大なタンクに密閉し、災害時の生活用水として利用するために貯蔵する。 | 2. 下水管の中にフィルターを設置し、雨水に含まれるゴミを取り除いてから川へ流す速度を速める。 | 3. 住宅地の景観を整えるための装飾として、雨水を好む植物を植えることで都市の気温上昇を抑える。 | 4. 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。 |
|--|---|--|--|

問11 河川が上流から土砂を運搬し、勾配の急な山地から平地へ流れ出る場所や、河口付近において、その土砂が積もることによって形成される地形の形成作用として、最も適切なものはどれか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|----------------|---------------|--------------|
| 1. 河川による堆積作用 | 2. 地殻変動による隆起作用 | 3. 波の力による浸食作用 | 4. 河川による侵食作用 |
|--------------|----------------|---------------|--------------|